

科目名	開講時期	必修・選択	科目区分	単位（時間）	科目責任者
輸血移植検査学Ⅱ	2年次	必修	講義	1単位（30時間）	藤野 良昭 ※
授 業 概 要					
<p>移植医療及び再生医療の基礎と関連する免疫反応について学び、拒絶反応や移植片対宿主病における免疫療法に関しても理解を深める。臨床検査として実施する移植関連検査を踏まえながら、移植医療と再生医療の現状と課題について検討していく。</p>					
到 達 目 標					
<ul style="list-style-type: none"> ・移植医療及び再生医療に必要な基礎知識を理解する。 ・拒絶反応と移植片対宿主病の機序について理解できる。 ・免疫抑制療法に関して理解できる。 ・HLAタイピング、キメリズム解析等の移植関連検査を理解できる。 					
実務経験のある教員					
藤野 良昭：病院での臨床経験を踏まえ、輸血や移植の知識について概説する。					
回	学 習 内 容				担当教員
1	移植医療 1：移植医療と移植免疫について				藤野 良昭 ※
2	移植医療 2：造血幹細胞移植とは				
3	移植医療 3：細胞移植、臓器移植、その他の移植について				
4	移植における免疫反応 1：拒絶反応				
5	移植における免疫反応 2：移植片対宿主病（GVHD）				
6	免疫抑制療法：シクロスポリン、タクロリムス、メソトレキサート、等				
7	後天性免疫不全：AIDS と日和見感染症や悪性腫瘍				
8	細胞治療 1： $\alpha\beta$ T細胞療法、等				
9	細胞治療 2 CAR-T細胞治療、等				
10	再生医療 1：ES細胞、iPS細胞				
11	再生医療 2：体性幹細胞				
12	移植免疫検査 1：HLAタイピング検査（DNAタイピングPCR-SSP）				
13	移植免疫検査 2：リンパ球クロスマッチ、CD34陽性細胞数測定、幹細胞比率				
14	移植免疫検査 3：キメリズム解析				
15	移植医療と再生医療の現状と課題				
学 習 方 法					
<ul style="list-style-type: none"> ・教科書や配付資料により予習と復習をすると理解が深まる。 ・講義は教科書及び配付資料をもとに実施し、適宜、視聴覚教材を用いて講義する。 					
評 価 方 法					
<ul style="list-style-type: none"> ・月曜試験を実施する。 ・遅刻や欠席等で月曜試験を受験しなかった場合は0点とするが、正当な理由がある場合は追試験を実施する。 ・定期試験（70%）及び月曜試験（30%）により評価する。 ・再試験は月曜試験の内容を合わせて出題し、これを評価する。 					
先 修 科 目					
教科書、参考書					
<p>〔教科書〕 最新臨床検査学講座 免疫検査学（著者：窪田哲朗 出版：医歯薬出版株式会社） 配付資料</p>					